

ラーケーション：子どもに学びを目的とした休暇制度の導入について

愛知県が導入している「ラーケーション：子どもに学びを目的とした休暇制度」を酒々井でも導入していただけますか？別府市でも始めるようですね。

酒々井という土地柄、空港や病院でお仕事している保護者は多いと思います。

お盆や年末年始はお休みをとれる家庭が多くなるかもしれませんが、その繁忙期こそお休みが取れない人もいます。利用の対象者に制限を設けず土日休みの家庭でも利用できるようにしていいと思います。(あえて土日避けることでゆっくりと過ごせるので)我が家は、学校を休ませて出かけています。意外だったのは親よりも子どもの方が休むことへの罪悪感を感じていました。なのでこの制度ができたら子どもに負担を感じさせることなく、子どものうちに色々な経験をさせてあげられる・・・と思いお手紙書きました。

この制度は賛否両論ありますし、導入するまでに細かいルール作りが必要になるかと思いますが、どうか前向きにご検討いただけたら嬉しいです。

よろしく願いいたします。

■回 答

愛知県で取り入れたラーケーションのメリットとしては、児童生徒が、自分で休みを決め、主体的に自分の学習スケジュールを組み立てることで「自己調整しながら学習を進めていく」能力を養えることが挙げられます。また、学校が休みの日に子どもと一緒に過ごすことが難しい家庭が、平日の保護者が休みの日に子どもと一緒に学び、活動することができるということも、学校の授業では得られない学びや楽しみ、さらには家族の絆を強くする効果があると考えられます。

一方、懸念する点としては、以下のことが挙げられます。

- ①経済的な事情など家庭の状況により、ラーケーションを利用できない家庭も予想でき、不公平感が高まる可能性があります。
- ②ラーケーション利用日の学習は、自習など家庭で補うことになっているものの、学習が遅れる可能性があります。
- ③ラーケーション利用日の学習の遅れを確認する他、様々に個別対応をすることが求められることから、教員の大きな負担になる可能性があります。

以上の懸念があることから、導入については慎重に検討してまいります。

なお、学習の遅れを取り戻す苦労や、学校で活動する楽しさを上回る価値があると児童生徒本人及び保護者が判断するのであれば、家庭の責任で欠席することを教育委員会は否定していないとのことであります。

《担当課：学校教育課》